

新吉野川プロジェクト(試案)

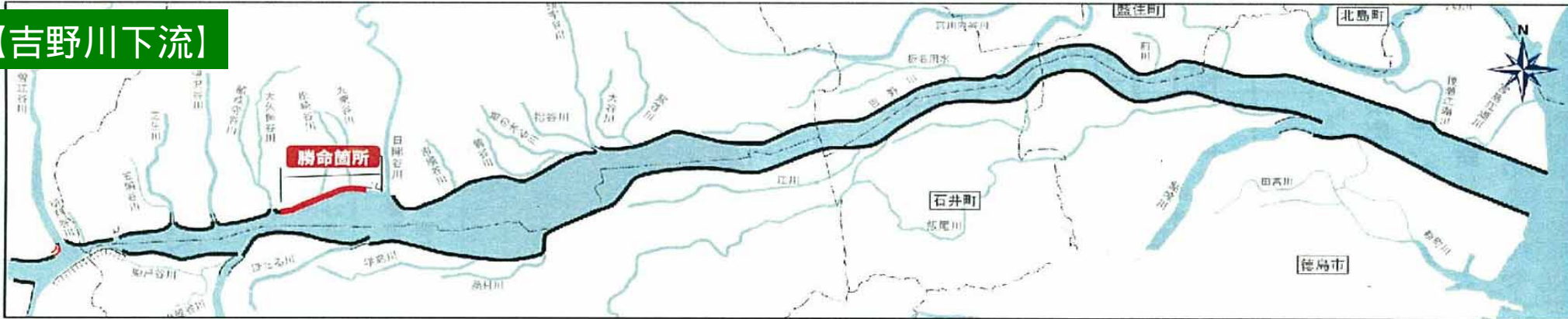
個別説明資料

洪水に対する安全性

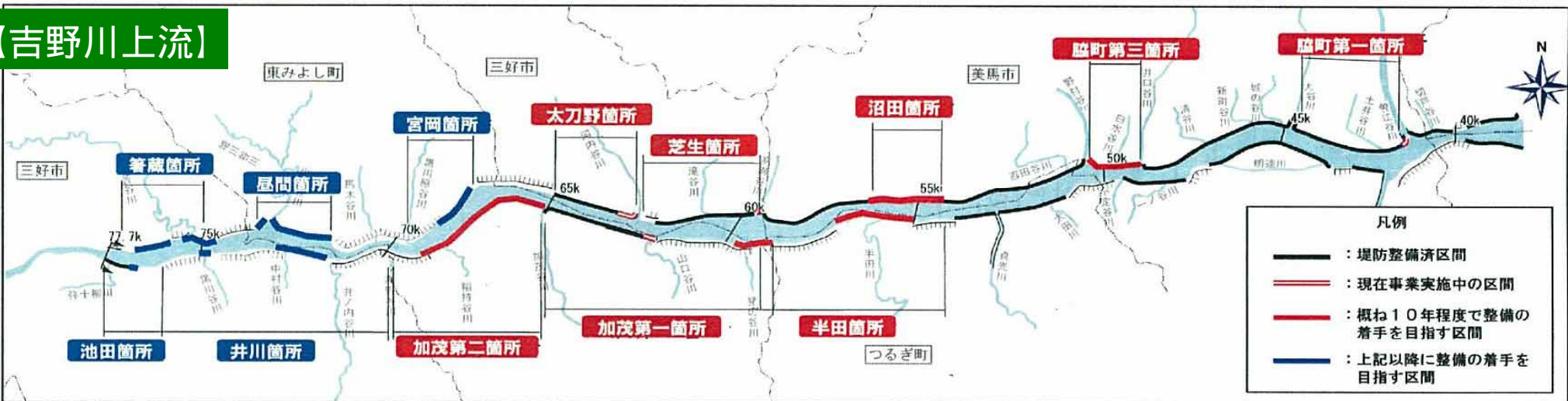
池田ダム下流の無堤地区における堤防整備、河道整備(吉野川)

河川整備計画(案)に対する知事意見聴取中

【吉野川下流】



【吉野川上流】



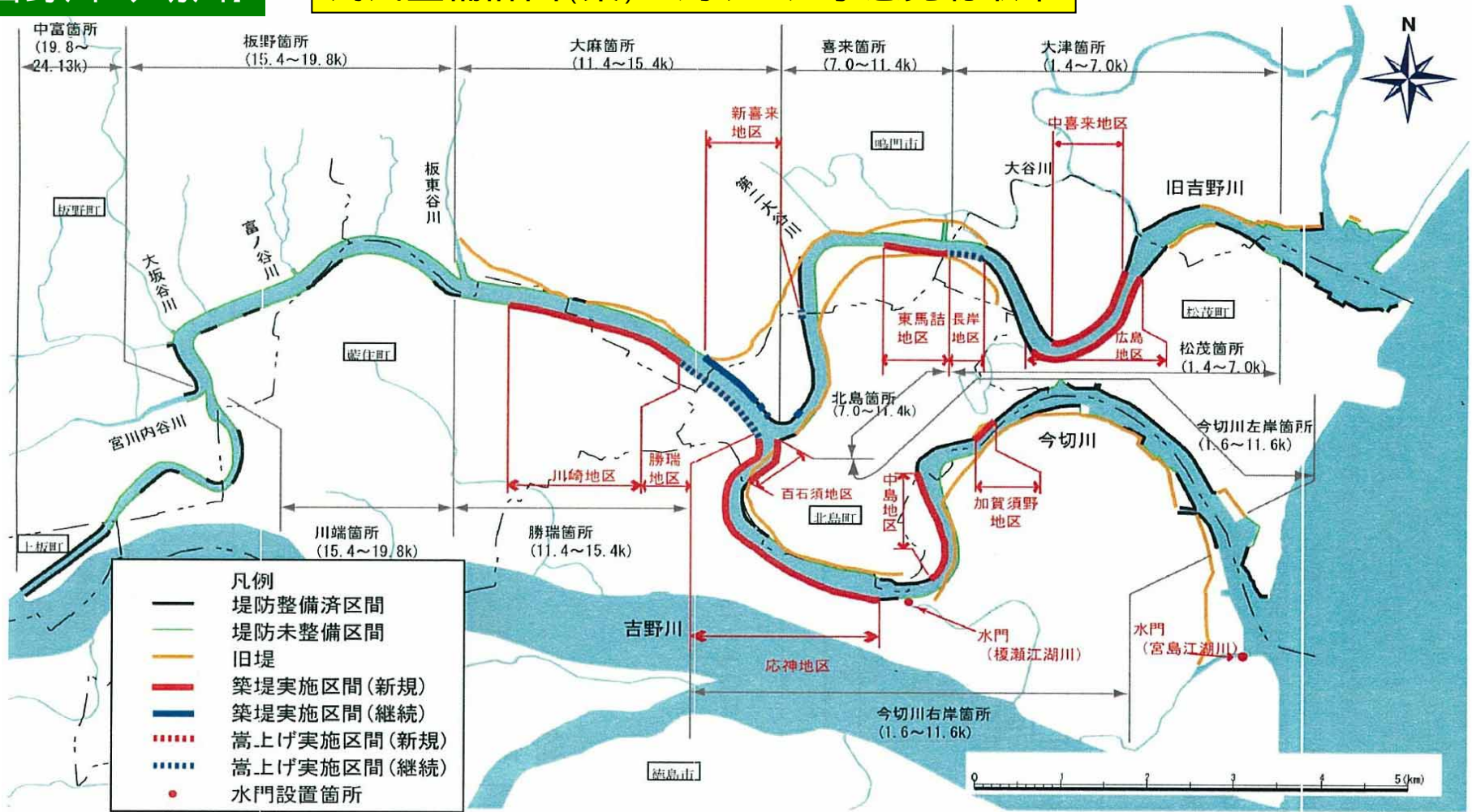
現在の予算状況で下流から整備した場合の着手可能な区間

左岸:勝命、脇町第一、脇町第三、沼田、芝生、太刀野
右岸:半田、加茂第一(毛田)、加茂第一、加茂第二

池田ダム下流の無堤地区における堤防整備、河道整備(旧吉野川)

【旧吉野川/今切川】

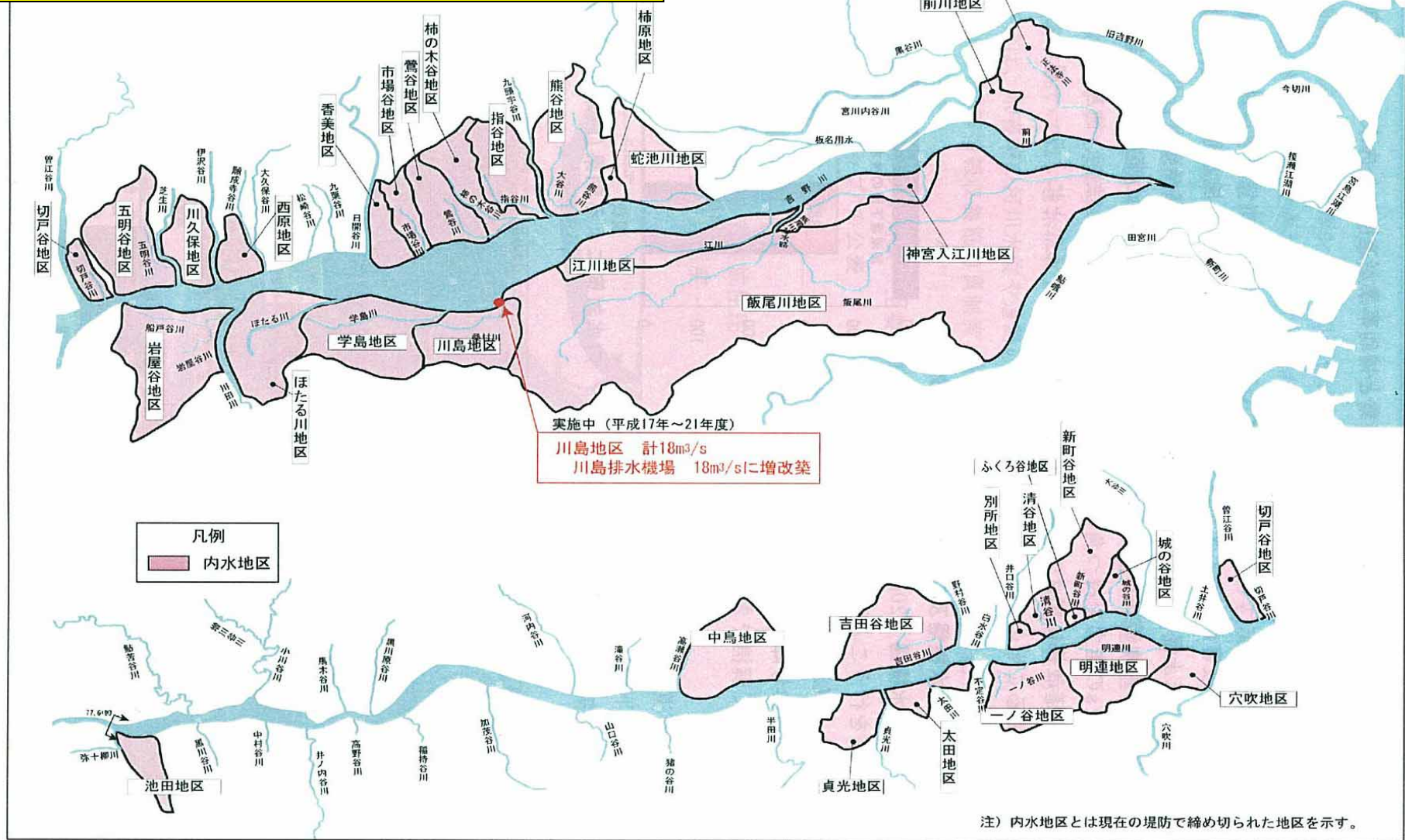
河川整備計画(案)に対する知事意見聴取中



現在の予算状況で下流から整備した場合の着手可能な区間	旧吉野川	左岸: 大津、喜来、大麻 右岸: 松茂、勝瑞
	今切川	左岸: 今切川左岸

吉野川沿川の内水地区における支川整備、ポンプ整備等

河川整備計画(案)に対する知事意見聴取中



内水対策については、内水の発生要因等を把握した上で、関係機関と連携の上、支川の改修や排水ポンプ場の新設・増設など、総合的な内水対策を検討し、必要に応じて、適切な対策を実施する

ハザードマップの整備



まるごとまちごと
ハザードマップの推進
(徳島県上板町)
平成20年5月設置

洪水HM公表率(直轄河川16河川)

四国全体 34/36市町村=94%

徳島県(吉野川、那賀川)

16/16市町村=100%

香川県(土器川)

5/5市町村=100%

愛媛県(重信川、肱川)

6/6市町村=100%

高知県(物部川、仁淀川、渡川)

7/9市町村=78%

高知市、日高村はH21作成

洪水HM公表率(補助河川41河川)

四国全体 13/22市町村=59%

徳島県 0/4市町村=0%

香川県 7/9市町村=78%

愛媛県 6/8市町村=75%

高知県 0/1市町村=0%

直轄河川と重複市町村は除く

洪水ハザードマップの活用状況

H20までに防災訓練等を実施した市町村

8/58市町村=14%

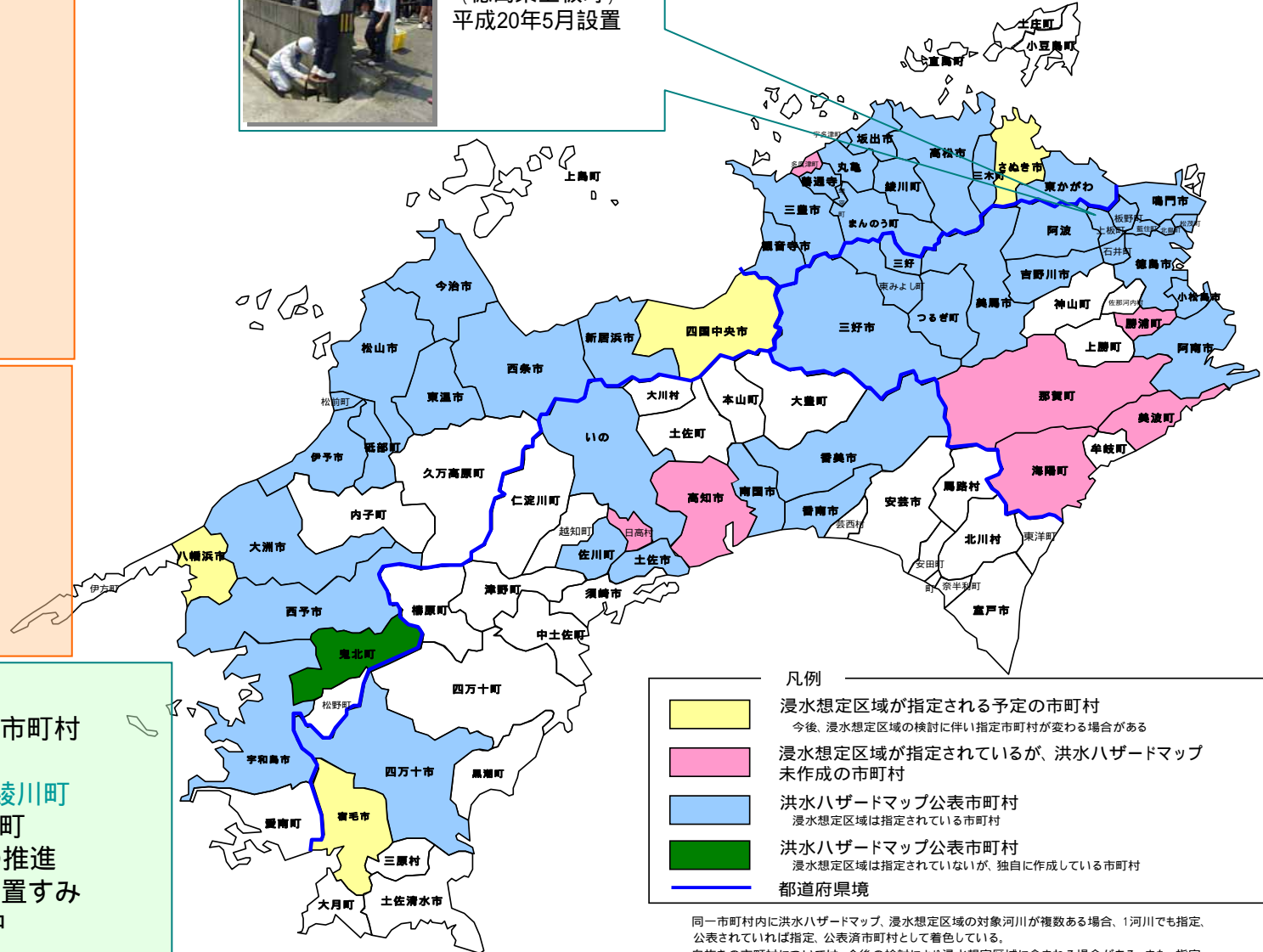
徳島市、吉野川市、まんのう町、綾川町

大洲市、四万十市、土佐市、いの町

まるごとまちごとハザードマップの推進

上板町(H20.5)、大洲市(H20.3)設置済み

阿南市、松山市、丸亀市で協議中



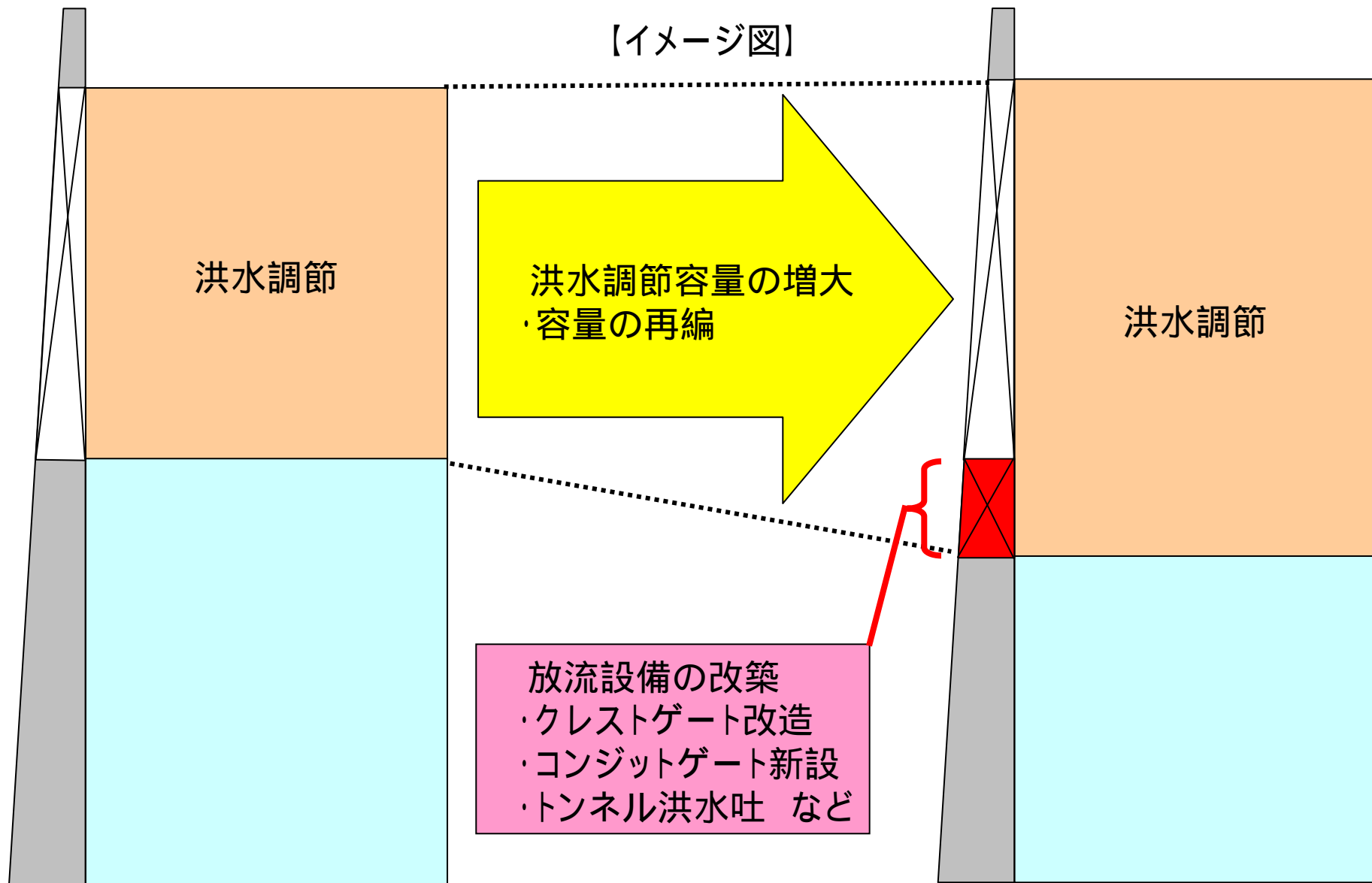
凡例

- 浸水想定区域が指定される予定の市町村
今後、浸水想定区域の検討に伴い指定市町村が変わる場合がある
- 浸水想定区域が指定されているが、洪水ハザードマップ未作成の市町村
- 洪水ハザードマップ公表市町村
浸水想定区域は指定されている市町村
- 洪水ハザードマップ公表市町村
浸水想定区域は指定されていないが、独自に作成している市町村
- 都道府県境

同一市町村内に洪水ハザードマップ、浸水想定区域の対象河川が複数ある場合、1河川でも指定、公表されていれば指定、公表済市町村として着色している。
白抜きの市町村については、今後の検討により浸水想定区域に含まれる場合がある。また、指定河川以外(水路や下水道など)のはん濫等により浸水被害が発生する場合がある。

早明浦ダムの放流設備の改築と洪水調節容量の増大

貯水位が低い場合でも放流が行えるよう放流設備の改築を行うとともに、洪水調節容量を増大させ適切な洪水調節機能を確認する。



早明浦ダム改築に伴うダム下流の河川改修

放流設備改築及び洪水調節容量の増大に合わせた治水機能の向上対策として早明浦ダム下流地区において堤防等の整備を行う。

平成16年10月台風23号による浸水状況



大川村



汗見川

立川川

本山町

大豊町

瀬戸川

土佐町

早明浦ダム

穴内川

地蔵寺川

山腹工等による土砂・流木発生抑制(里山砂防) [再掲]

地方の過疎・高齢化や地域を取り巻く社会環境の変化などから中山間地における集落周辺の斜面・溪流の荒廃が進んできている。また、近年の局地的な集中豪雨における土砂災害や流木災害が多発していることを鑑み、砂防えん堤の実施と併せて流木の発生源対策として、砂防えん堤上流域において溪流沿いの倒木や支障木等の除去や山腹工、山腹保育工等をおこなう。

流木等の発生源対策

(溪流等の土砂・流木発生抑制)

- * 溪流沿いの倒木や支障木等の除去
- * 路網(工事用・管理用道路)の整備 など

地区一帯での流域斜面の整備

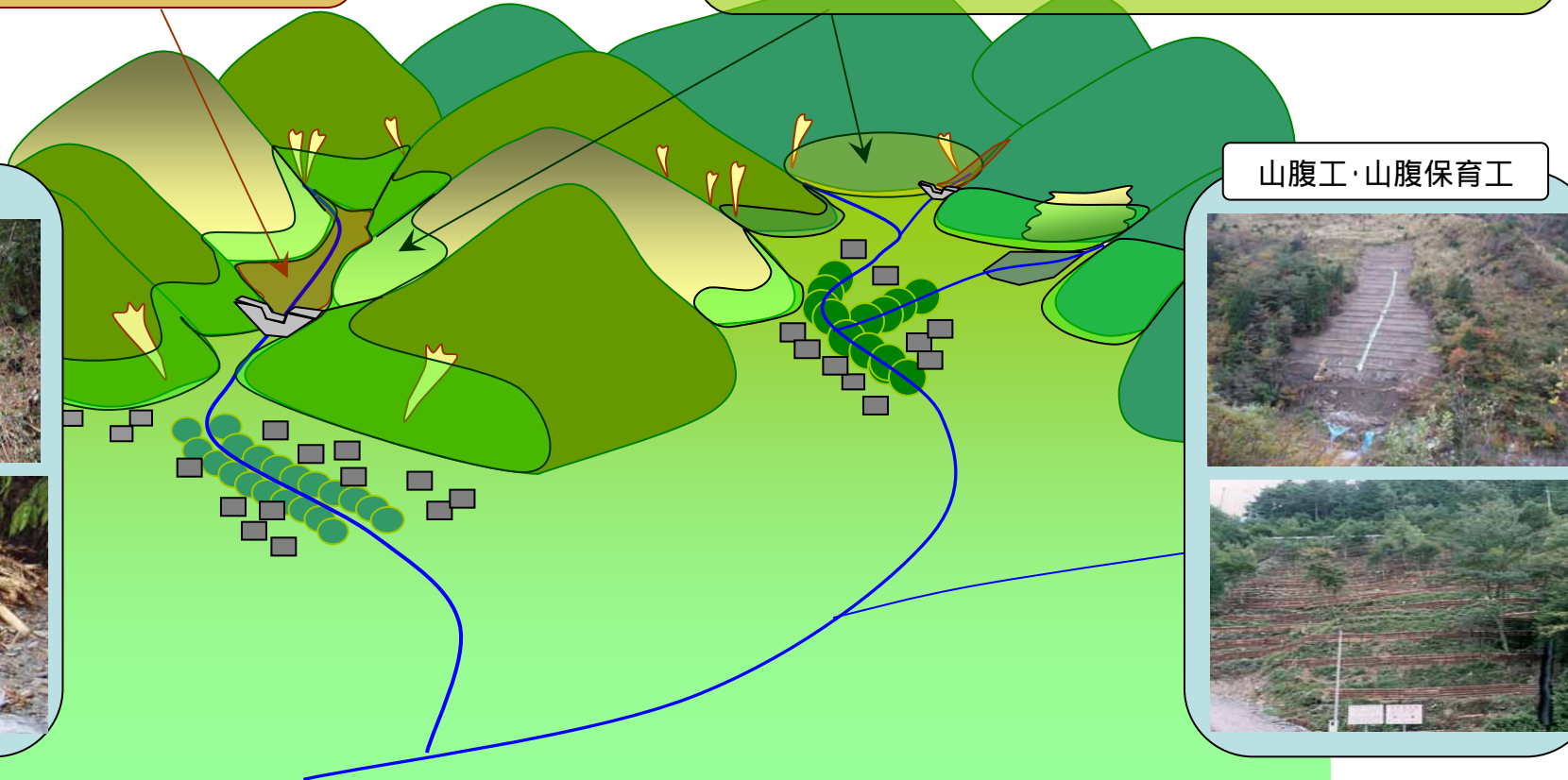
(山腹斜面等からの土砂・流木発生抑制)

- * 山腹工、山腹保育工(山腹工の継続的な整備作業・植生工の保育作業 など)
- * 路網(工事用・管理用道路)の整備 など

支障木除去



山腹工・山腹保育工



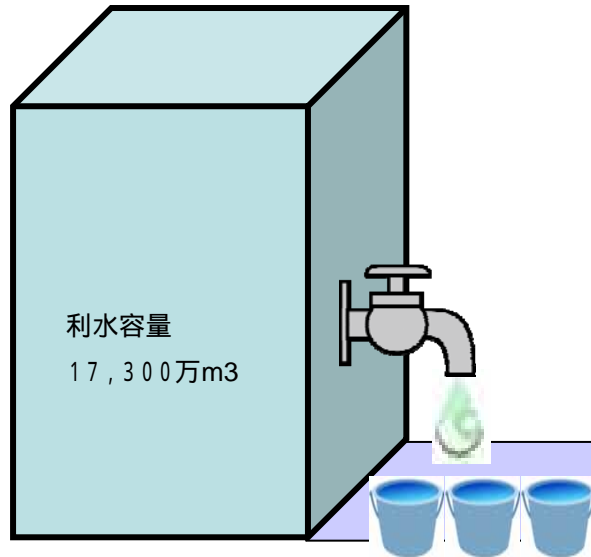
水利用の安定性

未利用水等を考慮した早明浦ダムの補給計画見直し

早明浦ダムに確保されている未利用水について、地域の実情を踏まえた他用途への転用など有効活用することなどで、現状の安全度の向上を図る(頻発する渇水の減少を図る)。

【イメージ図】

未利用水を含めて補給



現在運用

未利用水は貯留

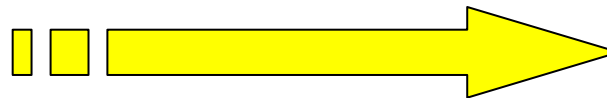


将来運用

未利用水を有効活用
することなどで利水安
全度の向上を図る

水利用の合理化

利水安全度 1 / 3



利水安全度 1 / 8

水源のネットワーク化等に関する具体化検討

水利用の検証と効率的な水利用のために、ため池等の自己水源の貯水状況等の常時把握に向けた検討を実施する。

(例) 香川県における水源の貯水状況等の把握状況

水源	観測	データ公表	7/10公開状況 (香川県HP)
早明浦ダム	常時観測	毎日(HP)	7/10 (0時現在)
香川県内ダム	常時観測	毎日(HP)	7/10 (0時現在)
宝山湖	常時観測	毎日(HP)	7/10 (9時現在)
ため池	定期観測	観測実施毎(HP)	7/2 現在

渇水時における吉野川の効率的な水利用

渇水時において利水関係者及び行政機関による「吉野川水系水利用連絡協議会」により関係者の調整を図り、節水に取り組むことで断水等による市民生活への影響を最小限としている。

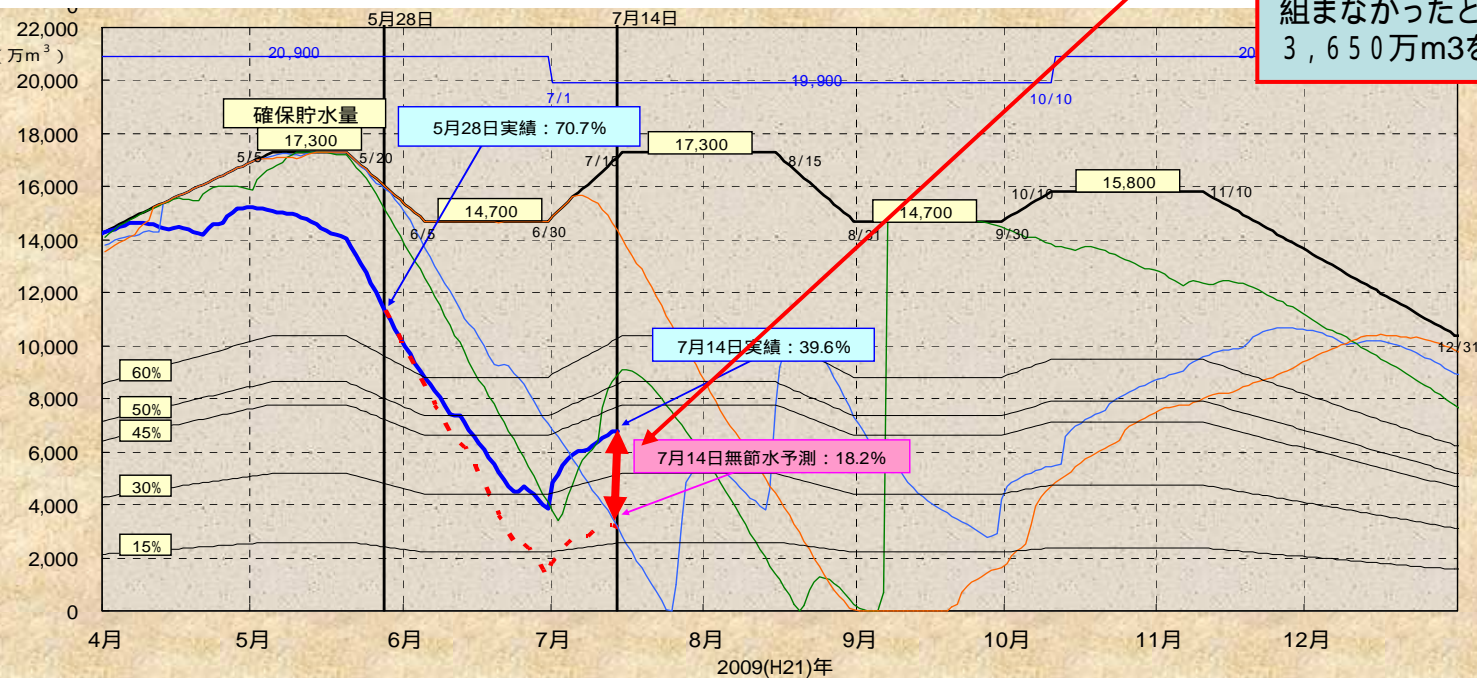


協議会開催状況

平成21年渇水における取水制限率

制限段階	協議会決定貯水率 (%)	節水率			
		徳島用水 (%)			香川用水 (%)
		新規	未利用	不特定	新規
第1次取水制限	60	20	100	0	20
第2次取水制限	45	35	100	0	35
第3次取水制限	30	50	100	0	50
第4次取水制限	15	60	100	0	60

平成21年渇水においても、節水に取り組んだことにより7月14日時点の貯水率は39.6%であるが、節水に取り組まなかったとすると18.2%になっていた(節水により約3,650万m³を早明浦ダムに確保)。



- 《実績・無節水比較》
 流況
 ・実績流況 (2009(H21)年)
- 節水ルール
 実績
- 5月28日 0時～：自主節水開始
 (徳島：未利用4m³/s削減・香川：上水2.9m³/s)
 - 6月3日 9時～：第一次取水制限開始
 ・徳島：新規20% + 未利用100%節水
 ・香川：新規20%節水
 - 6月14日 9時～：第二次取水制限開始
 ・徳島：新規35% + 未利用100%
 ・香川：新規35%
 - 6月22日 9時～：第三次取水制限開始
 ・徳島：新規50% + 未利用100%
 ・香川：新規50%
 - 6月30日 10時～：一時取水制限解除
 - 7月5日 10時～：第三次取水制限再開
 ・徳島：新規50% + 未利用100%
 ・香川：新規50%
 - 7月8日 9時～：一時取水制限解除
 - 7月10日 12時～：第三次取水制限再開
 ・徳島：新規50% + 未利用100%
 ・香川：新規50%
- 5月28日以降無節水予測
 ・5月28日 0時～：節水なし

環 境

早明浦ダムの濁水対策の実施

目的

早明浦ダムにおいては、濁水が毎年のように発生し、特に昭和51年の台風17号による濁水放流が、大きな社会問題となった(放流濁度 10度以上が94日継続)。この濁水対策として、S62~H20で早明浦ダム貯水池周辺の植栽工、溪流対策工等を実施し、濁水のダム湖への流入軽減及び土砂流入軽減を図ってきたところである。

しかし、早明浦ダム濁水問題解消には至っていない。早明浦ダム下流域では未だに濁水解消に対する要望が強く、更なる濁水対策の推進中である。

これまでの濁水対策

【施工前】

【施工後】

植栽工



溪流対策工



今後の濁水対策

多分野の技術やアイデアを対象に、より効果的な濁水対策の確保を目的として、技術公募を実施する。

濁水対策技術の公募及び審査

シミュレーション現地実証実験計画策定

現地実証実験

濁水技術検討委員会の開催

濁水対策工計画の策定

【技術公募資料】

四国の水瓶・早明浦ダムの濁水問題解決に有望技術を提案して下さい

技術公募のご案内(案)

早明浦ダムは長年に亘り、濁水長期化問題を抱えてきました。濁水長期化問題とは、出水後や渇水時に長期間に亘りダムから濁水が放流される現象であり、ダム下流河川の景観の悪化などが懸念されています。

当ダムにおいては、これまで選択取水設備の改善やグリーンベルト事業(貯水池のり面保全整備)など多くの対策案を検討し、また実施したことにより一定の効果が得られていますが、さらなる改善が求められています。

そこで、この度、**色々な分野の技術やアイデアを対象に**、効果的な対策の提案を期待して技術公募を行うこととしました。

皆様、ふるってご応募下さい。なお、応募資格、応募方法などの詳細は、吉野川ダム統合管理事務所のホームページをご覧ください。

こんな技術やアイデアがありませんか？

- ・大量の濁水を迅速かつ安価に処理できる技術
- ・大量の濁水が早明浦ダムに入らないようにする技術(山地山林の斜面崩壊を防ぐ技術)
- ・ダム貯水池堆積土砂の浚渫や有効活用する技術 など



銅山川ダム群の弾力的運用による流況改善

本プロジェクトは、洪水調節に支障を及ぼさない範囲で、**富郷ダムの洪水調節容量に一時的に流水を貯留し**、これを柳瀬ダム、新宮ダム及び影井堰と連携し、適切に下流河川に放流することにより、**新宮ダム下流の河川環境の改善に資することを目的とする。**

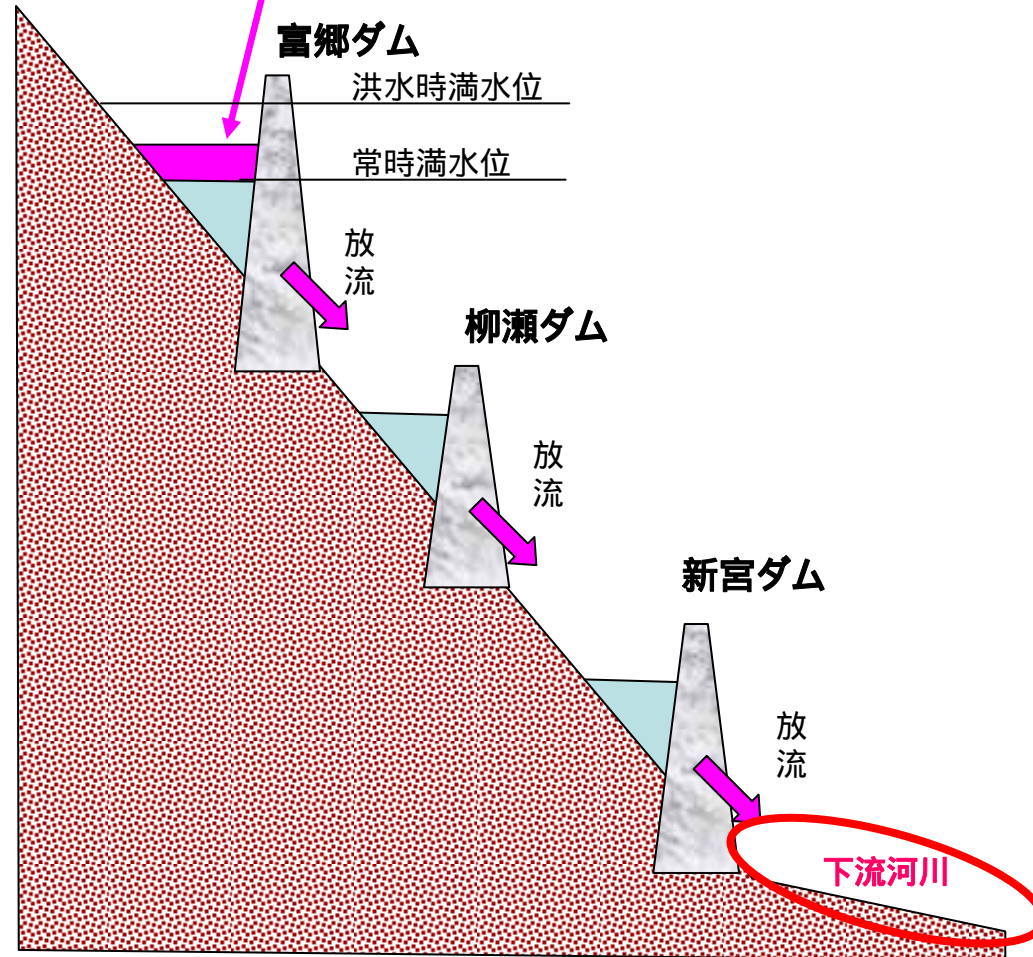
【下流河川】

現状



水環境の改善

改善後



公共下水道及び旧吉野川流域下水道の整備

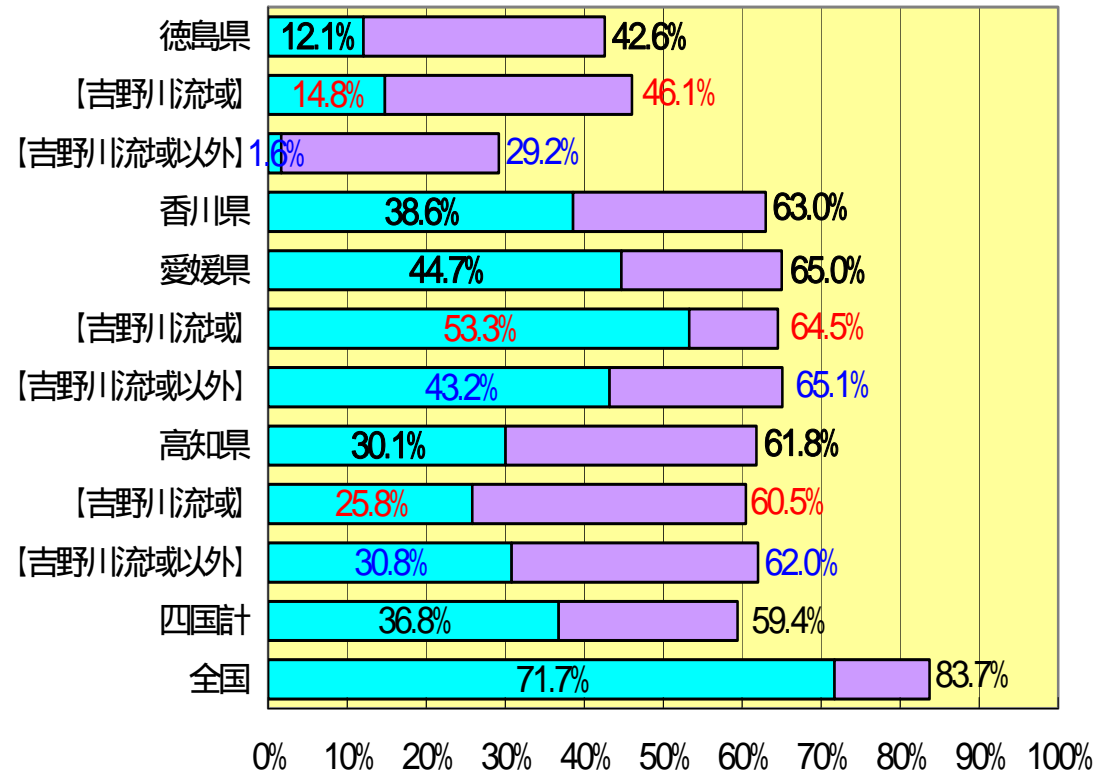
吉野川（池田ダム下流）において、公共下水道及び旧吉野川流域下水道の整備を推進する。

平成19年度末 下水道処理人口普及率 各県別内訳

	総人口(住民 基本台帳人 口H20.3.31)	処理区域内 人口(供用開 始公示済区 域内人口)	平成19年度 末普及率
	(人)	(人)	(%)
徳島県	805,951	97,281	12.1%
【吉野川流域】	640,135	94,555	14.8%
【吉野川流域以外】	165,816	2,726	1.6%
香川県	1,019,333	393,518	38.6%
愛媛県	1,471,510	657,899	44.7%
【吉野川流域】	220,089	117,297	53.3%
【吉野川流域以外】	1,251,421	540,602	43.2%
高知県	784,038	235,605	30.1%
【吉野川流域】	121,225	31,331	25.8%
【吉野川流域以外】	662,813	204,274	30.8%
四国計	5,552,342	2,042,202	36.8%
全国	127,066,178	91,105,708	71.7%

吉野川流域:流域内市町村の市町村全体の数字である。

平成19年度末 下水道処理人口普及率



■ 下水道処理人口普及率(下水道による整備)
■ 汚水処理人口普及率(下水道、農業集落排水事業、浄化槽、コミュニティ・プラントなどによる整備)

河川における外来種対策

現状、要因等

旧吉野川では毎年7月頃から発生し始め、河口堰上流のほぼ全域でホテイアオイ・ボタンウキクサが発生。流下能力障害、河川管理施設への影響、舟運等の障害、河川環境の悪化、悪臭の発生 大きな社会問題化

処理費用軽減のため引き続き『連絡会』を通して、早期発見・早期除去に努めていく。



旧吉野川流域においては、両河口堰上流側においてほぼ全川にわたって水草が分布している！

今切川河口堰

旧吉野川流域

H20の状況写真 旧吉野川ホテイアオイ、ボタンウキクサ等の発生状況



今切川河口堰



旧吉野川河口堰

対策検討

『吉野川流域ホテイアオイ等対策連絡会』(S61.2.28発足)の開催

- 会議内容
- 各機関におけるホテイアオイ・ボタンウキクサの対応状況
 - 異常発生 の 要因等の情報の共有
 - 水草等発見時の連絡体制の確立
 - 情報交換の実施

大量発生抑制への対応策

ホテイアオイ・ボタンウキクサなど水草の大量発生防止のため、各関係機関と連携し、早期発見・早期除去に努める。

ホテイアオイ・ボタンウキグサは支川より旧吉野川に流入し、成長・拡大することから、支川からの流入防止・早期発見・早期除去対策が最も有効である。

平成15年度より早期発見・早期除去に務めた結果、処理量・処理費用ともに減少傾向であったが、平成20年度には大量発生となった。

抜本的な対策は困難なことから、今後も早期発見・早期除去を行うべく、関係機関との連携を図っていく。

山腹工等による土砂・流木発生抑制(里山砂防) [再掲]

地方の過疎・高齢化や地域を取り巻く社会環境の変化などから中山間地における集落周辺の斜面・溪流の荒廃が進んできている。また、近年の局地的な集中豪雨における土砂災害や流木災害が多発していることを鑑み、砂防えん堤の実施と併せて流木の発生源対策として、砂防えん堤上流域において溪流沿いの倒木や支障木等の除去や山腹工、山腹保育工等をおこなう。

流木等の発生源対策 (溪流等の土砂・流木発生抑制)

- * 溪流沿いの倒木や支障木等の除去
- * 路網(工事用・管理用道路)の整備 など

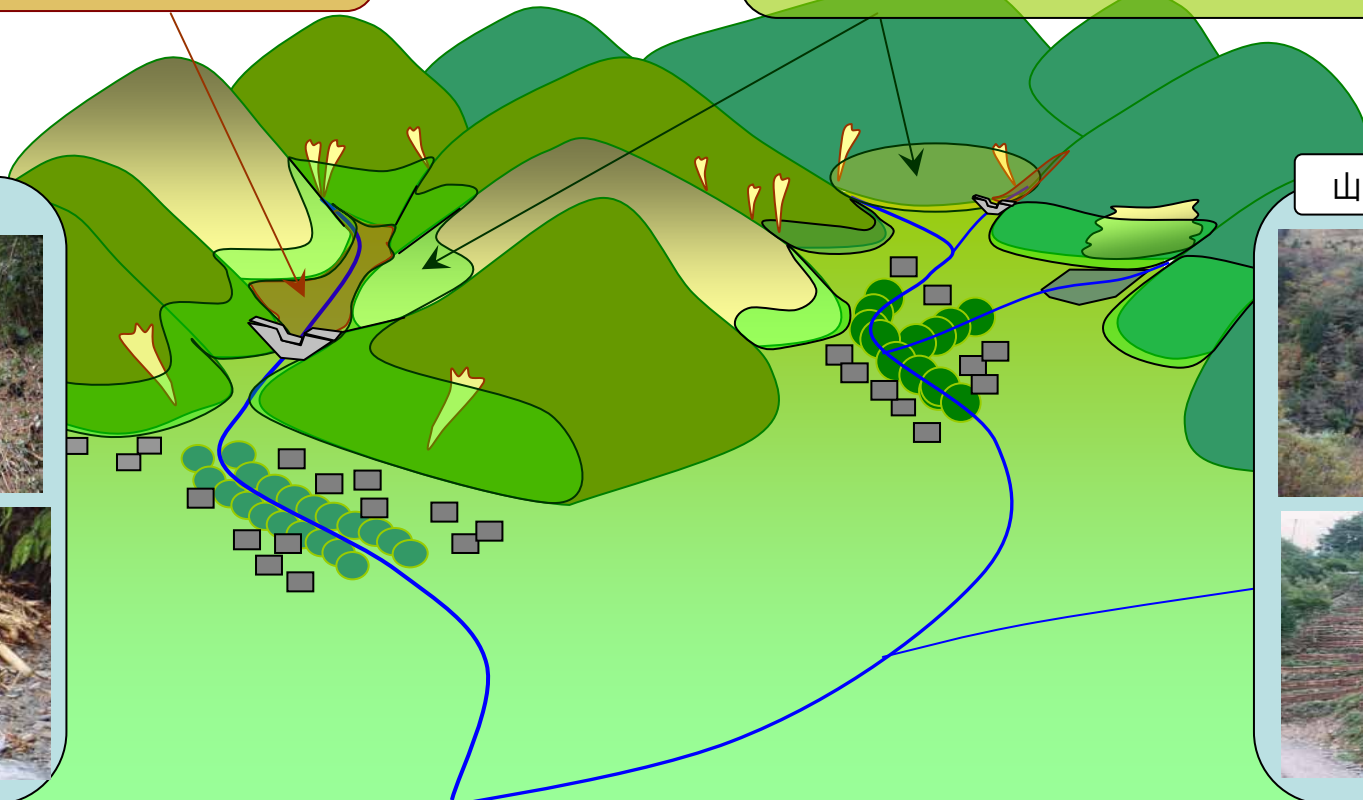
地区一帯での流域斜面の整備 (山腹斜面等からの土砂・流木発生抑制)

- * 山腹工、山腹保育工(山腹工の継続的な整備作業・植生工の保育作業 など)
- * 路網(工事用・管理用道路)の整備 など

支障木除去



山腹工・山腹保育工



吉野川流域における治山事業の実施

四国の代表的な地層と構造線



・四国は4つの地層帯が東西に走り、複雑な地質構造になっています。

・特に、急峻な四国山地を形成している御荷鉾(みかぶ)構造線とそれに接する三波川帯、秩父帯は、非常に脆弱な地質になっています。

・民有林直轄治山事業地は、この構造線に沿って事業を実施しています。

吉野川流域における治山事業の実施状況

県別	種別	実施	今後計画	計
高知県	山腹工 (ha)	32	9	41
	ダム工 (基)	665	106	771
徳島県	山腹工 (ha)	95	49	144
	ダム工 (基)	1,268	157	1,425
計	山腹工 (ha)	127	58	185
	ダム工 (基)	1,933	263	2,196

四国森林管理局において実施している治山事業については、国有林治山事業及び民有林直轄治山事業により、左記のとおり実施しています。

吉野川流域における治山事業の実施(実施例)

山腹崩壊地を山腹工事で復旧・緑化

穴吹川地区
的場谷



災害直後の
様子(S51)



施工後の
様子(S58)



現在の
様子(H20)

崩壊地には、山腹工事を計画し、早期緑化を図ります。はじめに、斜面を安定させ、その後、緑化工を施行し、斜面の植生を回復させ森林を再生しています。

荒廃した溪流を溪間工事で安定化・浸食防止

祖谷川地区
たいらだに
平谷



約20年後



溪流に堆積した不安定土砂の流出を防止します。また、荒廃溪流、地すべり地末端部の山脚固定を行い、川床の浸食、川岸の浸食を防止し、浸食などによって発生する崩壊、地すべりを防ぎます。

吉野川流域における森林整備事業の実施

作業前



作業後



下刈作業

苗木の健全な生育を図るために、周囲の雑草などを刈り払います。

除伐作業

植栽木と競合して雑木などが繁茂した時期に、生育不良な植栽木や雑木を伐採します。

間伐作業

造林木が収穫時期になるまでには、目的の木材になるように間引きを行います。

吉野川流域における森林整備事業の実施状況

作業種	平成2年度～平成20年度 実施面積 (ha)	平成21年度 計画面積 (ha)
下刈・つる切	1,650	140
除伐	5,606	210
保育間伐	11,663	432

整備箇所については、別添吉野川流域森林整備箇所位置図を参照して下さい。

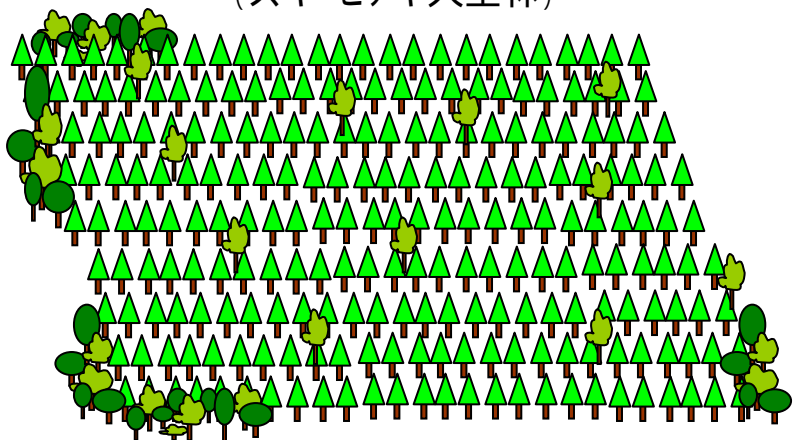
吉野川流域における森林整備事業の実施(針広混交林化の推進)

森林に対する国民のニーズが多様化する中、森林の有する多面的機能を発揮する上で、針広混交林化、広葉樹林化など多様な森林づくりの推進が求められています。

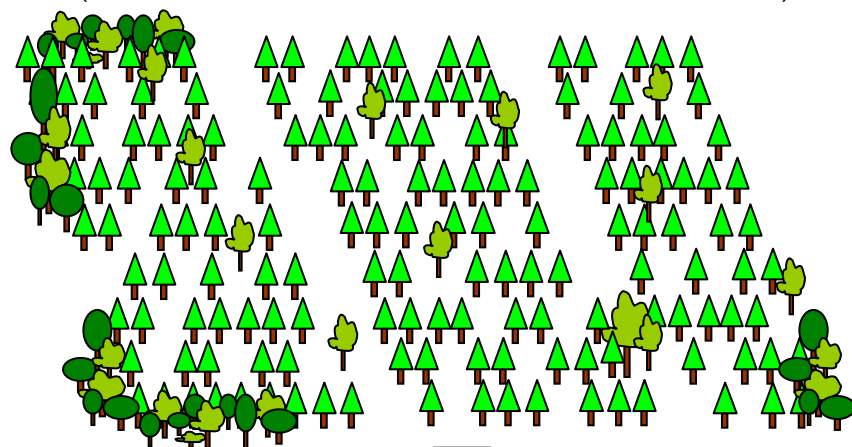
人工林率が70%を超え、スギ・ヒノキ林が多い四国局においても、広葉樹を導入した針広混交林化に取り組んでいきます。

(針広混交林化のイメージ図)

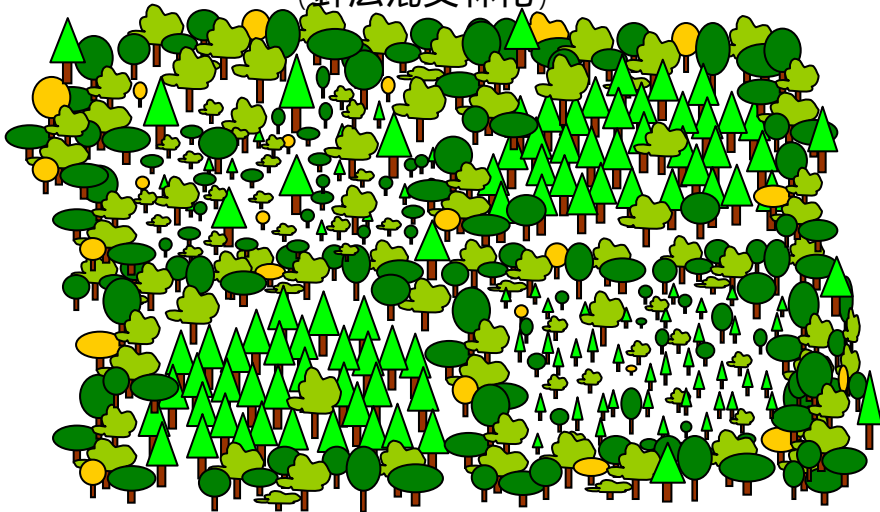
(スギ・ヒノキ人工林)



(広葉樹はなるべく残すようにして間伐を実施)



(針広混交林化)



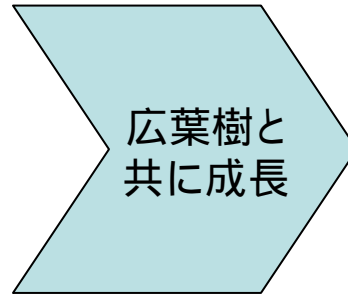
(下層植生として広葉樹を育成)



吉野川流域における森林整備事業の実施(針広混交林化等の実例)



天然更新地のスギの稚樹(樹の子供)



針葉樹と広葉樹の混交林



松くい虫被害後の大道マツ更新地

天然更新が難しいことで知られる、スギ(写真はヤナセスギ)を天然更新させる試みを実施しています。

現在、広葉樹の稚樹の間に多くのスギの稚樹を発生・成長させることに成功しており、今後、右の写真のような広葉樹との混交林に育てることをめざして取り組みを進めています。

かつて幹が通直で、木目が美しいことで知られた「大道マツ」は、松くい虫の被害により甚大な被害を受けました。このため、大道マツ再生のための活動に取り組んでいます。

早明浦ダム再編事業(仮称・試案)【計画概要】



場所: 高知県土佐町・本山町(吉野川水系吉野川)
目的: 洪水調節・不特定用水及び河川維持用水
かんがい用水・水道用水・工業用水・発電

整備概要:

治水安全度の向上:

- ・ダムの容量を再編することにより、洪水調節容量を増強する。
- ・予備放流方式を導入して洪水期の洪水調節容量を増量する。
- ・容量再編により不足する初期放流能力確保のためトンネル洪水吐を新設する。

これにより、戦後最大流量規模の洪水を安全に流下させるとともに、早明浦ダムの洪水調節能力を向上させる。

利水安全度の向上:

- ・未利用水を整理するなどしてダム容量を再編する。
- これにより、利水安全度を1/8まで向上させる。

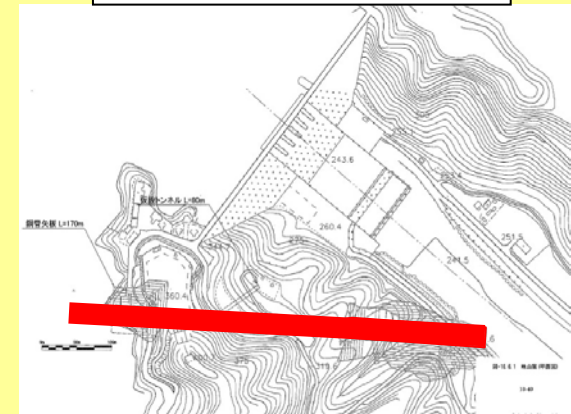
概算事業費:

400~500億円程度(今後の調整により変わる可能性がある。)

事業期間:

事業着手後、概ね10年

トンネル洪水吐 平面図



早明浦ダム再編事業(仮称)【早明浦ダムの課題】

治水

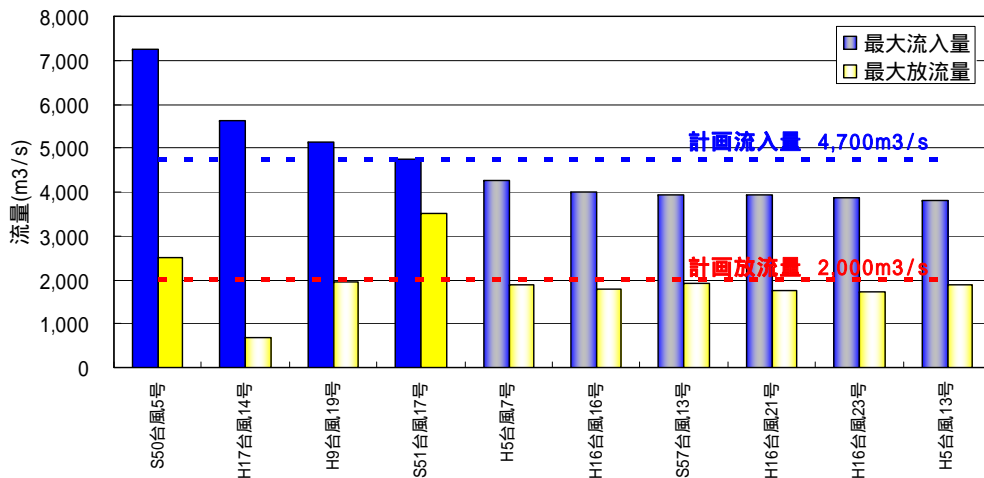


管理開始以降の33年間で、計画最大流入量を超える洪水が4回発生。このうち2回は、洪水調節容量の不足により計画放流量を超える放流を実施。

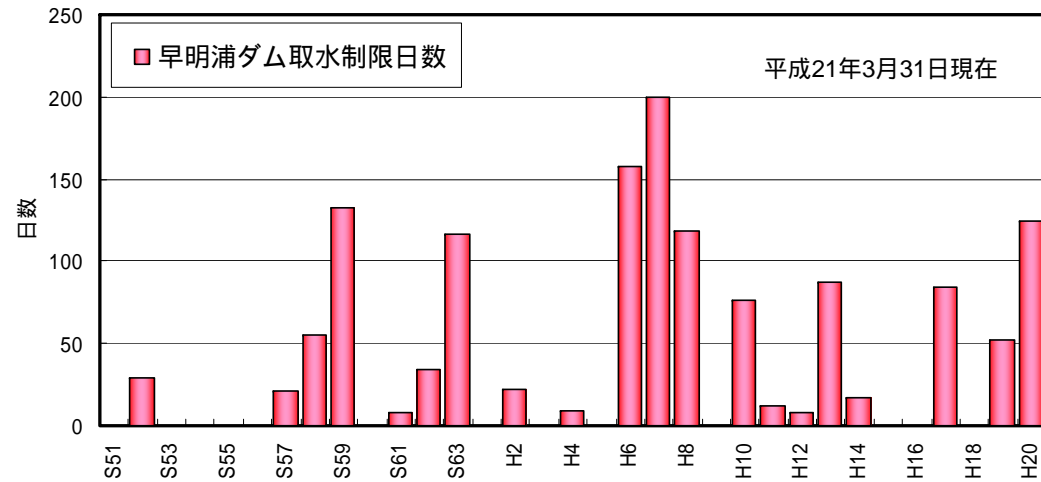
利水



早明浦ダムは、四国4県の水の安定供給を担う重要な役割を持ちながら、過去33年間で22回もの取水制限を実施(現況利水安全度約1 / 3)。平成6年、17年、20年の3回に渡ってダム利水容量が枯渇。



早明浦ダムの流入放流状況 (流入量上位10洪水)



早明浦ダム及び銅山川ダム群に係わる利水での取水制限日数

平成21年3月31日現在

早明浦ダム再編事業(仮称)【利水計画代替案】

利水計画代替案 比較

【施設建設】

	名称	概算事業費
	海水淡水化	約2,900億円 (年間維持費約180億円) 年間維持費は福岡県事例の引き延ばし

【日々輸送】

	水バックによる水輸送	約10億円/日 (約300億円/月)
--	------------	-----------------------

情報の共有化

四国の水に関するポータルサイトの開設

四国の水問題に関する情報の共有化のために「四国の水に関する情報ポータルサイト」として開設し現在公開中。

掲載サイトの拡充及び各サイトの内容の充実等を継続して実施する。

四国の水に関する情報ポータルサイト

お知らせ

◆ 当サイトは、四国水問題研究会の中間とりまとめを受け、水利用に関する情報を集約し一覧できる仕組みの一環として開設したものです。
◆ 現在、四国水問題研究会中間とりまとめに対する意見を募集しています。ご意見は[こちら](#)から。

四国水問題研究会

- 四国水問題研究会
- TOPICS
- 四国地方整備局渇水情報
- 徳島県渇水情報
- 香川県渇水情報
- 愛媛県渇水情報
- 高知県渇水情報
- 渇水に関する水道断水情報(厚生労働省)
- 気象に関する情報
- 降水ナウキャスト:四国地方(気象庁)
- 気象統計情報(気象庁)
- 財団法人日本気象協会
- 洪水に対する安全性に関する情報
- 徳島県の防災情報
- 香川県の防災情報
- 愛媛県の防災情報
- 高知県の防災情報
- 防災ポータルサイト
- 防災情報提供センター
- 浸水想定区域図/国管理河川
- 浸水想定区域図/都道府県管理河川
- 国土交通省ハザードマップポータルサイト
- 川の防災情報
- 森林に関する情報
- 四国森林管理局

河川・ダム情報データ

- 川の防災情報
- 水文水質データベース
- ダム経緯データベース
- 河川環境データベース
- 河川・ダムに関する情報
- 県管理河川に関する情報
- とくしまの河川と海岸
- 香川の河川
- 香川県のダム
- えひめの河川・ダム
- 高知県のダム
- 国管理河川に関する情報
- 吉野川/御蔵ダム他(国土交通省ダム)
- 吉野川/早明ダム他(水資源機構ダム)
- 那賀川/河川川ダム
- 物部川/仁波川/河川
- 仁波川/大源ダム
- 四方十川/河川
- 四方十川/中筋川ダム・穂川川
- 脇川/河川
- 脇川/山鳥坂ダム・鹿野川ダム
- 脇川/野村ダム
- 重信川/河川
- 重信川/石手川ダム
- 土讃川/河川
- 森林に関する情報
- 四国森林管理局

水利用の安定性に関する情報

- 各県の水利用
- 香川県/かかわの水
- 香川県/香川県水道局
- 香川県/香川のため池
- 香川県/香川ため池協議会
- 愛媛県
- 高知県
- 各県の工業用水・水力発電
- 徳島県企業局
- 香川県水道局
- 愛媛県公営企業管理局
- 高知県公営企業局
- 水力発電
- 電源開発(株)
- 四国電力(株)
- 農業用水
- 徳島県/水土里ネット吉野川北庄
- 徳島県/水土里ネット那賀川
- 徳島県/四国東部農地防災事務所
- 徳島県/那賀川農地防災事業所
- 香川県/水土里ネット香川用水
- 香川県/水土里ネット高瀬池
- 香川県/香川用水土器川沿川農業水利推進班
- 愛媛県/水土里ネット道前平野
- 愛媛県/水土里ネット道後平野
- 愛媛県/四国土地改良調査管理事務所道前道後支所

地域活性化・交流に関する情報

- eひらけ活性化懸担(ひらけNPO)
- 吉野川交流推進会議
- 早明ダム水源地域/大豊町
- 早明ダム水源地域/十待町
- 早明ダム水源地域/本山村
- 早明ダム水源地域/大川町
- 早明ダム水源地域/いの町
- ウエルカム!四国(四国経済連合会)
- 四国内の市町村へのリンク
- 徳島県/徳島県行政事務組合
- 社団法人大川川ふるさとネットワーク

川とふれあいに関する情報

- カワナビ
- 河川川Kids Web
- ひらけ川Kidsネット
- 川で遊ぼう
- 川の学習素材(四国の一級河川)

河川管理者サイト

- 国土交通省/河川局
- 国土交通省/水資源部
- 四国地方整備局/河川部
- 四国地方整備局/企画部
- 徳島県河川整備課・流域振興課
- 香川県河川防課
- 愛媛県河川課
- 高知県河川課
- 独立行政法人水資源機構/本荘
- 独立行政法人水資源機構/吉野川局

リンクについて | 四国地方整備局お問い合わせ窓口

Copyright© 2009 Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism Shikoku Regional Development Bureau. All Rights Reserved.

四国地方整備局渇水情報

渇水情報

◆ 四国地方整備局管内渇水情報 (平成21年7月6日0時現在)

- 各ダム の状況【PDF】 ※開中の更新ありません
- 渇水時におけるダムの効果【吉野川】
- 現在の取水制限状況
- 吉野川水系吉野川(早明ダム)
- 7/5~第3次取水制限開始(徳島用水18.8%,香川用水58%)
- 吉野川水系山川川(富田ダム、野村ダム)
- 6/12~第3次取水制限(工業用水30%、上水道用水5%)

◆ 渇水関係リンク

- ダム取水状況及びリアルタイム【川の防災情報】
- 川の渇水に伴う取水制限情報【厚生労働省・健康局水道課】

◆ 各ダムの状況

- 富田ダム
- 野村ダム
- 吉野川
- 早明ダム
- 山川川
- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県

◆ 取水制限状況

- 徳島県
- 香川県
- 愛媛県
- 高知県

四国水問題研究会
「中間とりまとめ」

四国の水に関する情報ポータルサイト

四国水問題研究会「中間とりまとめ」ホームページ
<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/mizu/index.html>

四国の水に関する情報ポータルサイト
<http://www.skr.mlit.go.jp/kikaku/mizuportal/index.html>

一般向け情報提供冊子の作成

「中間とりまとめ」の内容及び四国の水問題について、四国4県の住民の理解を深めることを目的として、「一般向けの情報提供冊子、紙芝居等の広報媒体」を作成する。

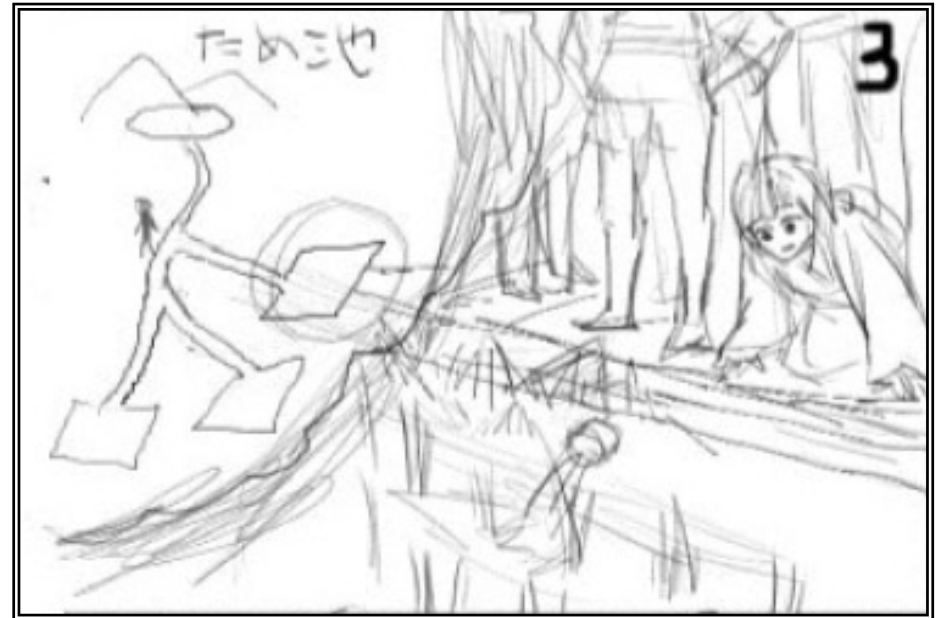
紙芝居の例(ラフスケッチ段階)

ばんずい こうばこ 「番水と香箱」

貴重で少ない水を分け合う先人の知恵に学ぶこと



昔、ため池の水すら少なくなり水争いが起きると、番水制という制度で田の水を配分していた。線香を燃やし時間を計るものだ。



終わりの太鼓の合図で配水を止め、次に移る。水がきたぞというときは皆総出で見守った。

紙芝居作成: 愛媛大学

フォーラムの開催等の分かりやすい広報の実施

「中間とりまとめ」の内容を関係者・住民にわかりやすく理解が得やすい広報として、フォーラム等を開催する。

平成21年6月26日には、関係者（行政担当者）向けのフォーラムを開催。

四国水問題研究会のホームページより、「中間とりまとめ」に対する意見等の募集開始。



「四国水のフォーラム」開催状況【6月26日(高松市)】

今後、幅広い皆様方へのわかりやすい広報、意見の募集等を実施する。

交流と連携

交流連携活動の支援の強化・拡大

「交流連携活動の支援の強化・拡大」について検討を実施する。

(例) 財団法人 吉野川水源地域対策基金

吉野川水系における流域関連地域の振興と一体的発展に資するため、施設整備や交流推進を図る事業に資金援助を行っている。

平成20年度実績 14,245千円(内、交流促進 6,579千円)



【交流促進事業】
(子供交歓会)



【交流促進事業】
(シンポジウム開催)

取り組みの評価

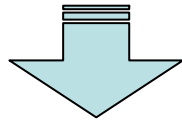
施策の合理的評価システムの検討

施策の合理的評価システムの検討に着手する。

現状における水利用の全体像を把握し、地域に与える利益や渇水時の不利益等を検証する必要がある。

四国地方において新たな便益が発生するのであれば、負担の公平性や便益の最大化について検討することが必要である。

このためには、**水利用の取り組みを合理的に評価するため、受益と負担の関係を評価できるシステムの構築について検討することが必要**である。



今年度は、施策の合理的評価システムの構築に向けた、**基礎データ収集・整理(産業関連表含む)を実施**する。



雨の少ない
讃岐平野は
濁水に悩ま
されてきた
歴史がある。
人々は様々な
対策を
行ってきた。



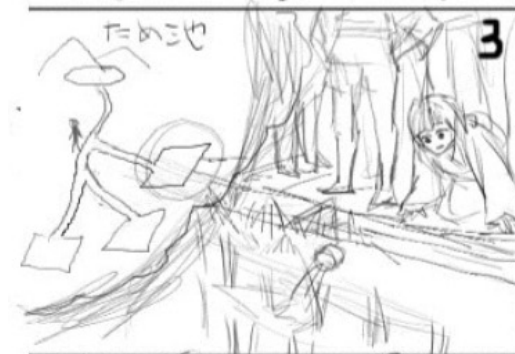
5
土瓶水という
ものもあった。
昭和14年、濁水
で稲が枯れかけた
とき、学生を集め
土瓶に入れられる
だけの水を入れ、
稲にかけたという。
それほどの窮地
だった。



2
昔、ため池の水
すら少なくなり
水争いが起きると、番水制
という制度で
田の水を
分配していた。
線香を燃やし
時間を計る
ものだ。



6
そして時代と共に
水の需要も益々
増え、早明浦ダム
がつくられた。
四国の水がめと
いわれ、台風の
ときには多くの
水の貯金をし
人々の生活を
潤した。



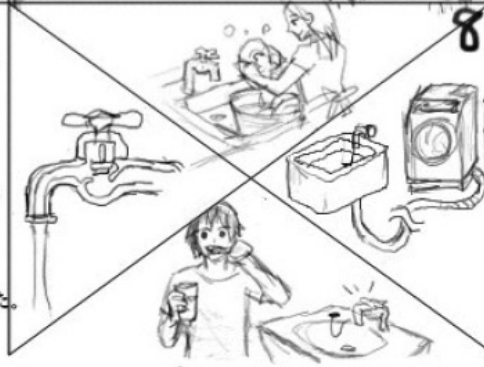
3
終わりの
太鼓の合図で
配水を止め、
次に移る。
水がきたぞと
いうときには
皆総出で
見守った。



7
それでも自然は
おそろしいもので
平成6年には歴史
的な濁水が起きた。
このことから
早明浦ダムで
植樹が行われる
ようになった。



4
しかし
やはり水不足、
田の水は充分
には来ない。
水引きの役は
「もっと欲しい
だろうが我慢
してくれ」と
人々をなだめた。



8
今に至るまで
の間には、
このような
様々な苦勞が
あった。今も
水は大切な資源に
他ならない。
節水を考えて
大事に使わな
ければならない。